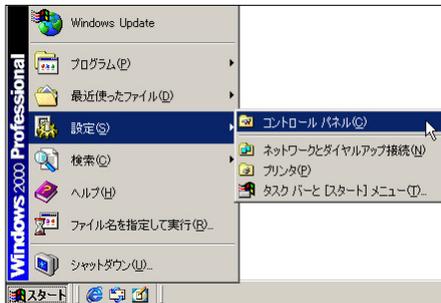


- 1 [スタート] ボタンをクリックして、[設定] メニューから [コントロールパネル] を選択します。



- 2 [コントロールパネル] 画面の [電話とモデムのオプション] アイコンをダブルクリックします。



- 3 [電話とモデムのオプション] 画面が表示されますので [新しい所在地] を選択し [編集] ボタンをクリックします。

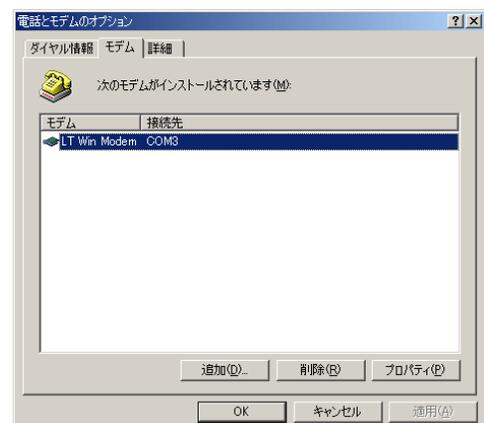


- 4 [所在地の編集] 画面が表示されますので、[全般] を選択して、以下のように入力と設定を行い [OK] ボタンをクリックします。



- ◆ 所在地：所在地情報
- ◆ 国 / 地域：日本
- ◆ 市外局番：ご利用される場所の市外局番
- ◆ 市内通話の場合の外線発信番号：空白
- ◆ 市外通話の場合の外線発信番号：空白
- ◆ キャッチホン機能を解除するための番号：チェックしない
- ◆ ダイヤル方法：ご利用回線種別を選択

- 5 [電話とモデムのオプション] 画面に戻りますので、[モデム] タブをクリックし、ご利用されるモデムが一覧に表示されることを確認します。

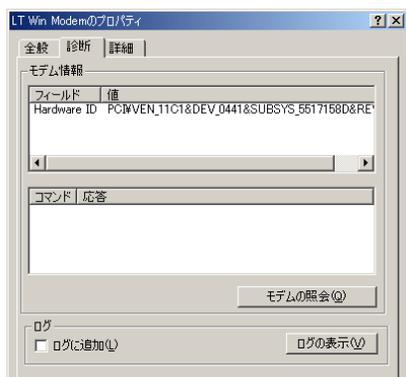


- 6 ご利用されるモデムが一覧に表示されていたら、選択した状態で [プロパティ] ボタンをクリックし以下の設定を行ないます。



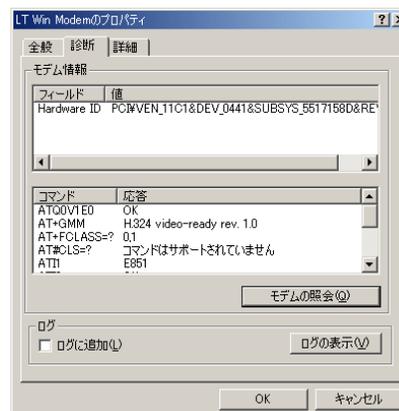
- ◆ ポート：モデムが接続されているポートを選択
- ◆ 音量：任意
- ◆ ポートの最高速度：任意
※ モデムの通信速度の2倍程度が適当です。
- ◆ ダイヤルの管理：チェックしない (任意)
※ 構内交換機などを經由した発信音がない回線を利用する場合にはチェックします。

- 7 [診断] タブを選択して、以下の設定を行います。



- ◆ ログに追加：チェックしない

- 8 [モデムの照会] ボタンをクリックします。[モデムを使って通信しています] 画面の後に、[コマンド] [応答] に文字列が表示がされればパソコンとモデムとの通信が正常に行える状態になっています。



※ 一覧にご利用されるモデムが表示されていない場合や、応答がない場合には、モデムのマニュアルをご参照の上、セットアップを完了してください。

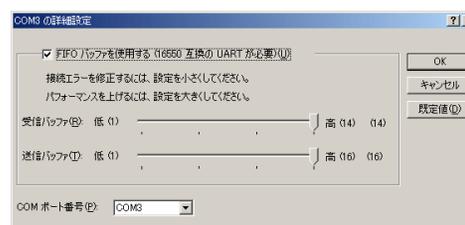
- 9 [詳細] タブをクリックし、以下の設定が行なわれているか確認します。



追加設定：

- ◆ 追加の初期化コマンド：空白

- 10 [ポートの詳細設定] ボタンをクリックし、以下の設定が行なわれているか確認し [OK] ボタンをクリックします。

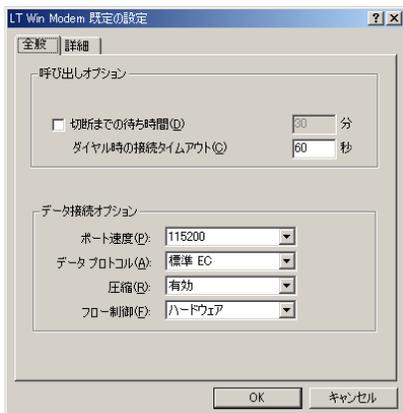


- ◆ FIFO バッファを使用する (16550 互換の UART が必要)：チェックする
- ◆ 受信バッファ：任意
- ◆ 送信バッファ：任意
- ◆ COM ポート番号：モデムが接続されているポートを選択

- 11 [ご利用されるモデムのプロパティ] 画面に戻りますので [規定の設定を変更] ボタンをクリックします。



- 12 [ご利用されるモデムの既定の設定] 画面が表示されますので、[全般] タブ内の設定が以下のようになっているか確認します。



呼び出しオプション：

- ◆ 切断までの待ち時間：チェックしない (任意)
- ◆ ダイヤル時の接続タイムアウト：任意の秒

データ接続オプション

- ◆ ポート速度：任意
※ モデムの通信速度の 2 倍程度が適当です。
- ◆ データプロトコル：標準 EC
- ◆ 圧縮：有効
- ◆ フロー制御：ハードウェア

- 13 [詳細] タブをクリックし、以下の設定が行なわれていることを確認し [OK] ボタンをクリックします。



ハードウェアの設定：

- ◆ データビット：8
- ◆ パリティ：なし
- ◆ ストップビット：1
- ◆ 変調：標準

- 14 [ご利用されるモデムのプロパティ] 画面が表示されますので [OK] ボタンをクリックします。



- 15 [電話とモデムのオプション] 画面が表示されますので [OK] ボタンをクリックします。

